

菅波 茂

2月22日。ニュージーランドの観光地で有名なクライストチャーチ市で地震が発生した。2日現在で死者159名、行方不明240名以上と伝えられている。AMD A本部からは、24日に第一次としてピーラーバーク調整員と石岡未和看護師を被災地に派遣した。さらに2名の関係者が現地参加となった。

AMD Aは09年10月に発生したサモア諸島地震津波被害に対する緊急支援活動を行い、被災地最寄の基幹病院メドセン病院に対しては医薬品の寄贈などを行なっている。そのメドセン病院の経営者であるプニ院長が、AMD A多国籍医師団のメンバーである相互扶助

の精神に基づき、今度は隣国の被災者を支援する医療活動への参加を申し出てくれた。また、2月からオークランド市に留学中の元AMD Aスリランカ医療和平事業派遣の武田未央保健師が授業を休んで活動に参加してくれた。第二次派遣として、27日にAMSA（アジア医学生連絡協議会…私がカンボジア難民救援活動を契機に1980年に設立。現在15の国と地域の医学生が所属。AMD Aと協力関係）の会員である岡山大学医学部3年生の村上拓氏を派遣、天理教国際たすけあいネットワークの足立喜誠氏も同行することとなった。

た。阪神大震災の時に経験した「都市災害は水の問題」との認識に基づいた支援物資である。石井知事の制定された県国際貢献推進条例を誇りに思いたい。

AMD A派遣チームは二手に分かれて活動している。日本人チームは26日、行方不明の日本人留學生ご家族への説明会に同席し、以降宿泊先も同施設として24時間体制で心のケアを行っている。サモアからのプニ外科医師は、大型仮設医療施設を設置したオーストラリア派遣医療チームに入り

目。日本からのご家族に寄り添うAMD A看護師はある父親から手紙を託された。「NZの皆様、日本の皆様へ」ではじまるこの手紙は感銘深いもの

目。日本からのご家族に寄り添うAMD A看護師はある父親から手紙を託された。「NZの皆様、日本の皆様へ」ではじまるこの手紙は感銘深いもの

ニュージーランド地震被災者救援活動

だった。「私の娘は世界に通じる医療従事者を目指して語学研修中に今回の地震にあいまして。文字通り政府・国民が一体となり救出活動にあたっては、お礼の言葉を込めて、はるか9000キロも離れた地に留学先を選んだ娘の思いに納得しました。地震発生直後からの



感動させ心を揺さぶり続けている。(1日付毎日新聞に全文掲載)

ちの各国の救援隊の方々から余震の続く中、危険もかえりみず救助に立ち向かっておられます。ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。救助にあたる方々が2次災害を受けらばいけません。救済に助け合ひ、支えあい、見放さない「相互扶助」にもとづく人道支援による信頼関係の確立こそ世界平和への確実な道のりであることを訴えたい。

救済活動からの教訓の講演を要請されている。クライストチャーチも訪れ、犠牲者の冥福と被災者の回復を祈ると共に、「困った時はお互いさま」助け合ひ、支えあい、見放さない「相互扶助」にもとづく人道支援による信頼関係の確立こそ世界平和への確実な道のりであることを訴えたい。(AMD Aグループ代表